



写真提供 佐伯泰英事務所
愛犬みかんと快晴の大島を望む

あつ、腱鞘炎!

佐伯通信

2022年1月(令和4)
第58号
発行 佐伯泰英事務所
担当 文藝春秋
禁・無断転載

八十路を直前に腱鞘炎にかかった。写真家と物書き兼業から半世紀、物書き専業になっても四十年近い。腱鞘炎は、ある意味、仕事を為した物書きの勲章だ。ところがこちらは手先健全とききた。なんとなく劣等感に苛まれたつ晩年を迎えた。もはや作家の勲章とは無縁

と思っていたら、厄介な校正作業の最中、腱鞘炎らしい症状に見舞われた。ネットで調べて「立派な腱鞘炎」と自己診断した。娘に相談すると、「腱鞘炎の完治は難しいでしょうね、ウィズ腱鞘炎の晩年か、仕事を辞めることね」と言われた。そんなわけで右手の筋に沿って軽くバンデージを貼って作業をしている。うーむ、おれも小説家の端くれに登録されたか、といういささかの満足感と、「作家の勲章」なしの物書き稼業元遂残念なりの想いに揺れている。

佐伯泰英 / 近刊のお知らせ

5月 10日	3月 15日	2月 8日
《文春文庫》 『空也十番勝負』 7	《光文社文庫》 『吉原裏同心』 37 『独り立ち』 〔佐伯通信第59号が入ります。初版の初出荷分のみ挟み込み〕	《文春文庫》 『新・酔いどれ小籐次』 22
《光文社文庫》 『吉原裏同心』 〔決定版〕 順次刊行!	4月12日 ①流離 ②足拔 5月上旬 ③見番 ④清掻	『新・酔いどれ小籐次』 6月~8月 連続刊行!

※発売日は予定です。

文藝春秋 文春文庫
『空也十番勝負』シリーズ担当
坪田朋子
読者のみなさま、あけましておめでとございます。「異変ありや空也十番勝負(一六)」をお読みいただき、ありがとうございます。
響音の嫡子・空也の武者修行を描く本シリーズ、3年ぶりの書き下ろし新作はいかがでしたでしょうか。意外な舞台で活躍することになった空也。その天真爛漫かつ破天荒な冒險に、お正月から心躍らせてお読みいただいたのではないかと感じます。「居眠り響音」シリーズの決定版から担当し、おこんのお腹の中に入ってきた身としては、すっかり、親戚の



子、ぐらゐの気持ちであります。読者の方から届いたお葉書の中には、「佐伯先生、空也をおこんさんのもとに帰してあげてください」という切実なメッセージも。
おこんにとっては、命懸けの山行の末に姥捨の郷でようやく出産し、田沼一派の刺客に襲われた折には、鉄瓶の湯を敵に浴びせかけて守った大切な息子……。すくすくと育っていると思ったら、ある日、武者修行に旅立って、瀕死との報せを何度も受け取るなんて、切なくなりませう。空也は十番勝負の後におこんや眉月霧子と再会するのか!? 読者のみなさまと一緒に、見守ってまいります。みなさまの読書が本年もよろこびに充ちたものになりますように!

近刊・作品情報はこちらでもチェックできます。
<http://www.saeki-bunko.jp> 佐伯泰英 ウェブサイト 検索

2022年の「佐伯通信」は、佐伯泰英事務所が株光文社、株文藝春秋の協力のもと発行します。

そんな折、人間ドックの結果が出た。差し障りはないようで、私の家庭医というべきT先生が、骨密度のデータを見ながら、「若年比較135%、いつもながらすこいね」と感心された。そのとき、腱鞘炎を報告するとして私の顔を見て、「八十にして腱鞘炎ですか、笑うしかないね。お大事に」と宣った。昔ならば蒲柳の質が作家の条件でした、とその顔が言っていた。

出版社からのお知らせ 文春文庫

書き下ろし 新作!
『空也十番勝負』
七 『風に訊け』
5月10日発売

『新・酔いどれ小籐次』
22 『光る海』
2月8日発売

6月 7月 8月 3か月連続刊行で
ついに完結!

2022年4月スタート!

『吉原裏同心 決定版』
『吉原裏同心』25巻 『吉原裏同心抄』6巻
『新・吉原裏同心抄』4巻を統一。

カバーデザイン一新、全編加筆修正で
全35巻を毎月2冊刊

4月 ①流離 ②足拔 ③見番 ④清掻 ⑤初花 ⑥遣手 以下続刊

出版社からのお知らせ 光文社文庫

佐伯泰英
『吉原裏同心』
01 流離